

# 2024年2月期 第3四半期決算説明資料

## <ご注意>

本資料中の業績予想ならびに将来予想は、現在入手可能な情報に基づき、当社の判断により一定の前提の下に作成されており、リスクや不確定要素等の要因が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、これら会社の将来情報と実際の業績とは大きく乖離する可能性があります。

株式会社 J R C

2024年1月

# 2024年2月期 第3四半期決算説明資料

- I. 会社概要**
- II. 事業内容**
- III. 2024年2月期 第3四半期決算概要**
- IV. 2024年2月期 連結業績予想**
- V. 成長戦略**
- VI. 子会社によるM&Aの実施について**

# I. 会社概要 企業スローガン

|        |                             |          |
|--------|-----------------------------|----------|
| 会社名    | 株式会社JRC（英文社名 JRC Co., Ltd.） |          |
| 本社所在地  | 大阪市西区阿波座2-1-1 CAMCO西本町ビル6F  |          |
| 代表者    | 代表取締役社長 浜口 稔                |          |
| 創業     | 1961年4月(浜口商店 創業)            |          |
| 設立     | 1991年3月(株式会社JRC)            |          |
| 資本金    | 105,573千円（2023年8月9日現在）      |          |
| 連結業績 ※ | 売上高                         | 8,961百万円 |
|        | 営業利益                        | 1,252百万円 |
|        | 親会社株主に帰属する当期純利益             | 830百万円   |
| 従業員    | 331名(連結)(2023年2月末現在)        |          |
| 事業内容   | コンベヤ部品の設計・製造・販売             |          |
|        | ロボットを活用した自動設備などの設計・製造・販売    |          |
| グループ会社 | JRC C&M株式会社                 |          |
|        | 株式会社大成                      |          |
|        | 吉艾希商事(瀋陽)貿易有限公司             |          |

## 企業スローガン

# 発見を、発展へ

## Discovery to Development

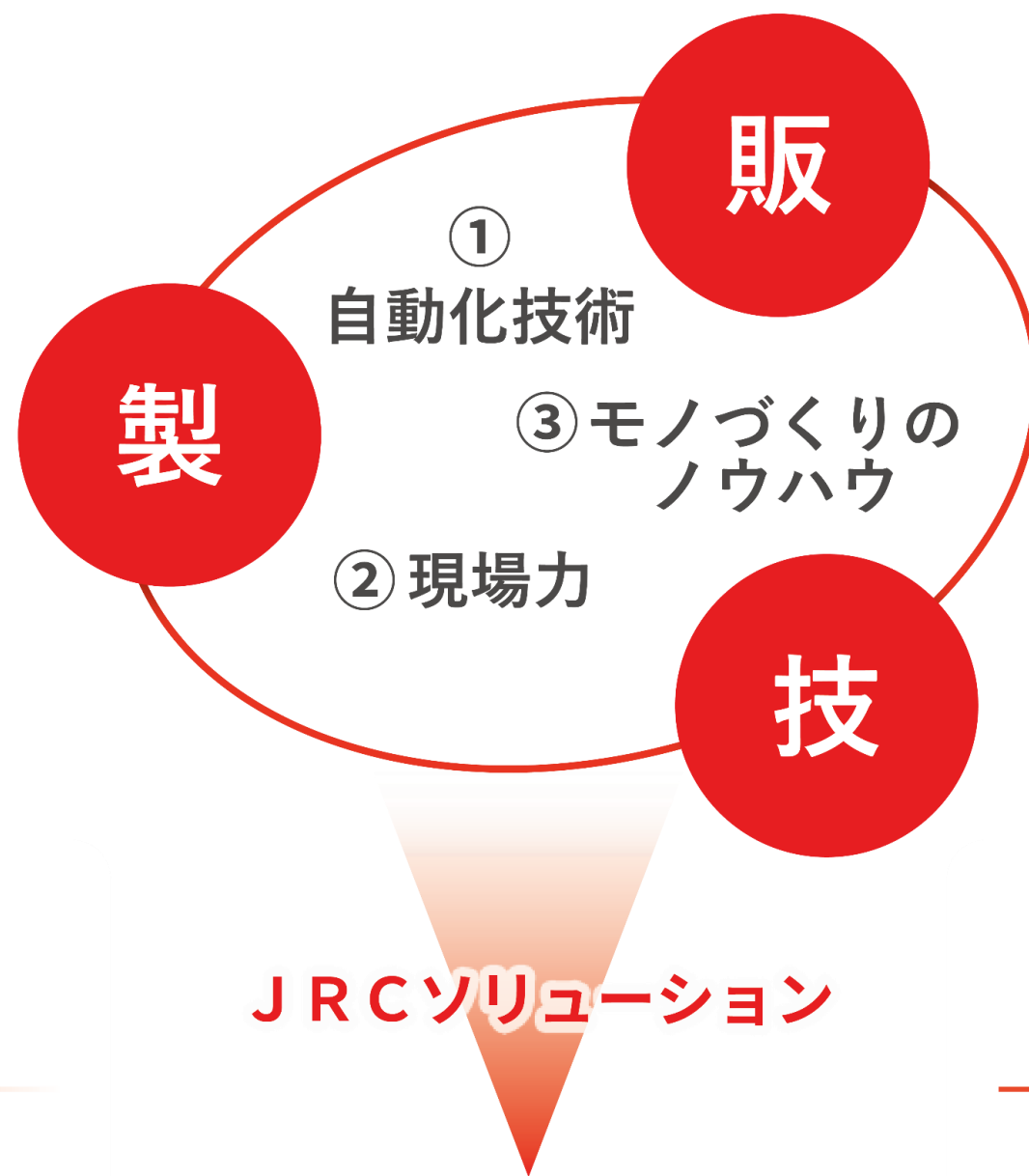
すべては現場を基本としたリアルから見出し、  
まだお客様にない視点での**課題の「発見」**から、

**不をなくすソリューション**を通じて

**「発展」(JRC・お客様・社会)**へと繋げていく意志を

『発見を、発展へ』という

企業スローガンとして表明しています。



## Mission 使命・存在価値

時代が直面する課題を解決し、  
社会発展の基盤づくりに貢献する  
ソリューションを創造しつづける。

## Vision 目指す姿

世の中の「不」をなくす。

# I. 会社概要 沿革

顧客課題の発見、ソリューション提供を通じて事業拡大  
近年は積極的なM&Aによる事業強化も実現



大阪で創業  
コンベヤ製品の  
製造・販売を開始

1961

1965

浜口鉄工(株)へ  
改組

1974

北海道に  
系列会社設立  
(後に吸収合併)

1977

福岡県に  
系列会社設立  
(後に吸収合併)

1981

日精・鹿児島工場を買取  
東京都に系列会社設立  
(後に吸収合併)

1989

淡路工場(当時の本社工場)へ  
ローラ自動組立ラインを導入し  
製品の均一化及び増産体制を整備



1991

(株)JRC設立

1997

兵庫県三原郡緑町  
(現南あわじ市)に新工場  
(現在の本社工場)を設立



2014

ソリューション  
営業を開始

2016

商栄機材(株)  
(現 JRC C&M(株))を  
完全子会社化

2018



ロボットSI事業ブランド「ALFIS」の展開を開始  
(当社工場における作業のロボット化も推進)

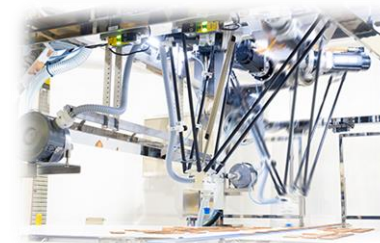
2018

2020

インテグラルが  
資本参加

2021

シンテゴンテクノロジー(株)より  
パラレルリンクロボットSI事業を譲受



2023

東京証券取引所へ  
新規上場

# 売上高・営業利益・営業利益率 (過去5年間の推移と2024/2期計画)

単位:百万円

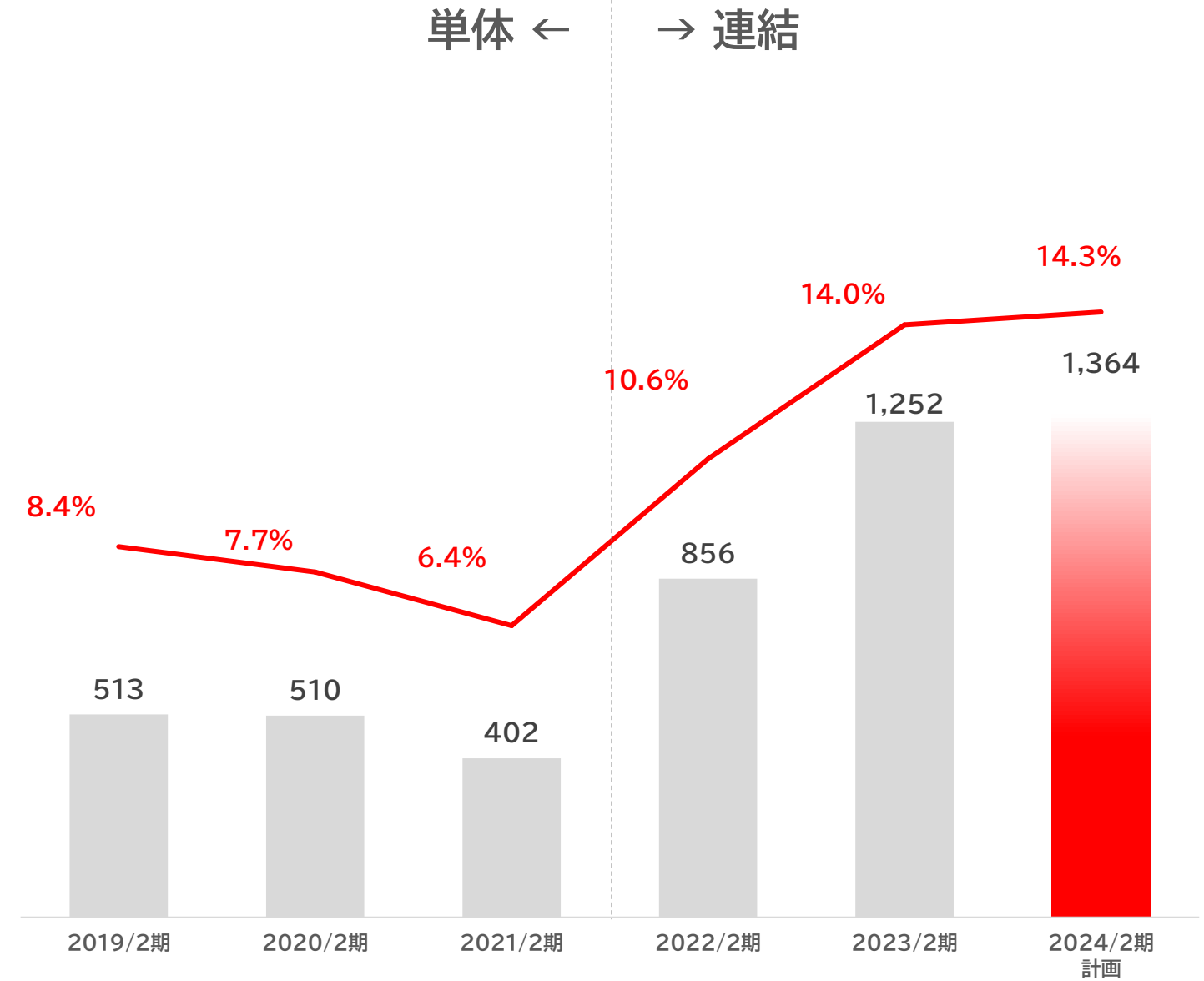
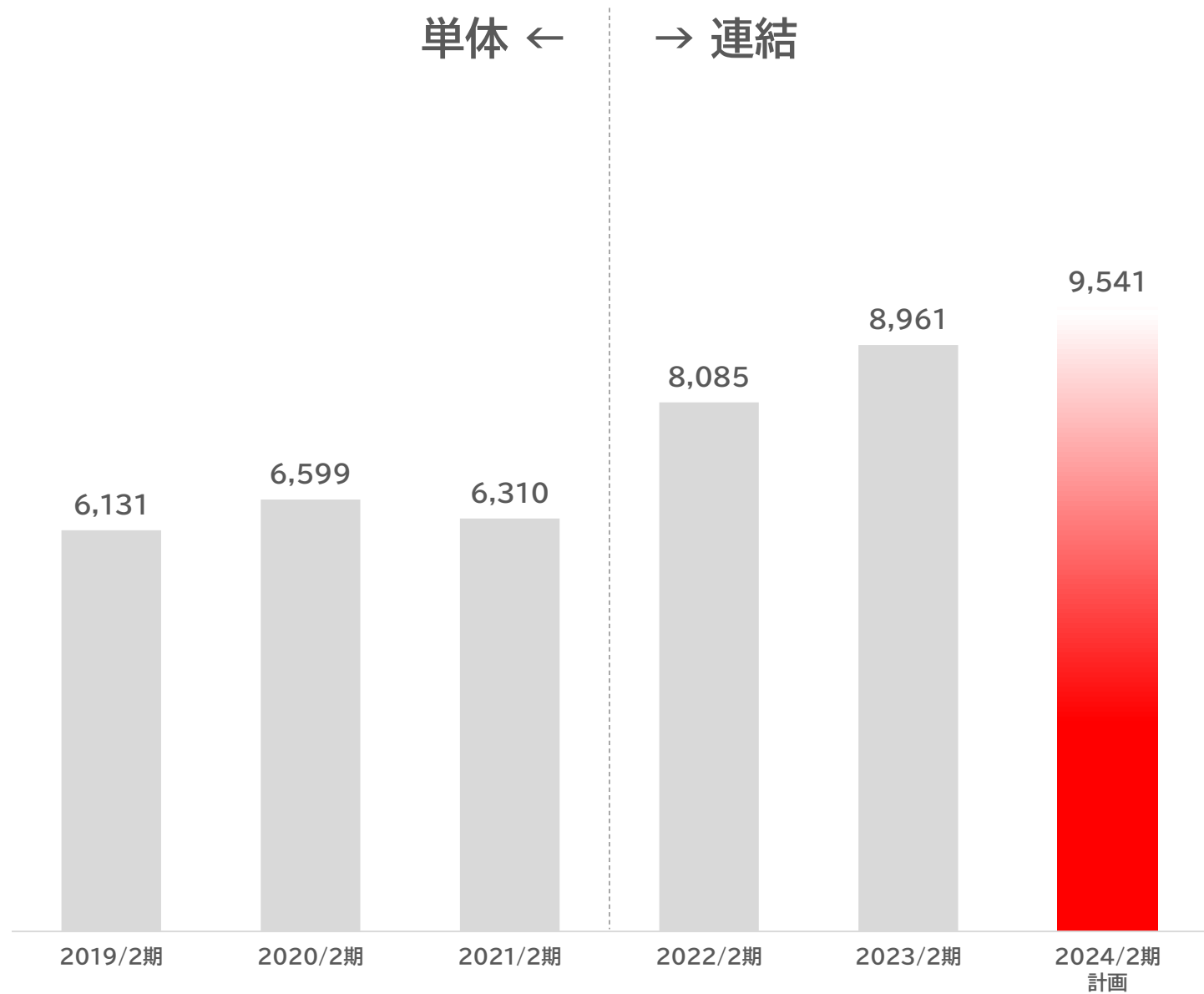
単位:百万円

## 売上高

## 営業利益・営業利益率

単体 ← → 連結

単体 ← → 連結





ニッチトップ&リカーリング、そしてソリューションで成長・拡大する「コンベヤ部品事業」と  
 製造業としての経験を活かした高成長な「ロボットSI事業」(ブランド名:ALFIS)の2つの事業を展開

## コンベヤ部品事業

### ニッチトップ・リカーリング

主に屋外用ベルトコンベヤ部品の製造・販売  
 コンベヤ・ソリューションの提供



ローラ(アイドラ)



プーリ



周辺機器

- 屋外用コンベヤ関連部品でトップシェア(52%)※自社調べ
- 部品製造からメンテナンスまで一気通貫で対応可能

## ロボットSI事業(ALFIS)

### 高成長

使いやすく、導入しやすい、高品質なロボットシステムの開発  
 ロボットを活用した自動化ソリューションの提供



パレタイズ



パラレルリンク



自動機OEM

- ロボット・周辺機器を統合し、ロボットを可動状態に
- 自社のコンベヤ部品工場自動化で培ったノウハウを活用

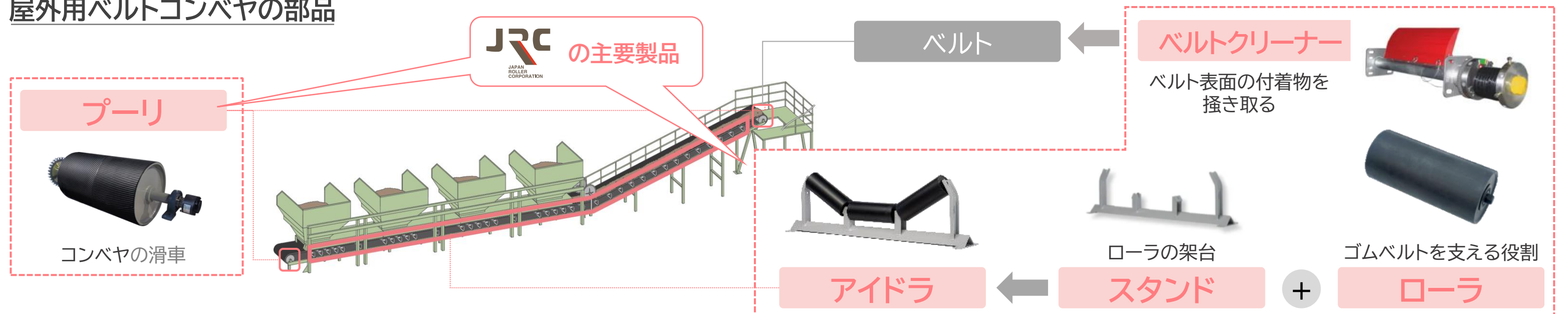
# 創業60余年の経験と実績を有するJRCの主力事業

連続搬送の合理化・効率化に不可欠な設備である「コンベヤ」

JRCでは基幹産業の現場で多く用いられる「**屋外用ベルトコンベヤ**」の部品を主に製造



## 屋外用ベルトコンベヤの部品





## Ⅱ. 事業内容 屋外用コンベヤ部品という商材特有の「堅実性・安定性」

### 特長① ベルトコンベヤ設備(部品)は現場の安定稼働に「必要不可欠」

1. ベルトコンベヤ設備は、運搬距離が長く、運搬物が大量かつ高重量  
(人や他の機械設備では代替が不可能)
2. ベルトコンベヤ部品(主要部品のプーリなど)の故障・不具合は  
設備全体の即時停止に直結  
⇒ コンベヤの前後の工程にも影響



### 特長② 交換頻度が高い

粉塵・摩耗・運搬物の付着・落下衝撃など  
過酷な環境で使用され、**損耗が早い**

主要部品であるローラは、特に  
過酷な環境では **数カ月**～で交換要



### 特長③ 価格低下しにくい

国内市場における有力プレイヤーが限定的であり、  
コンベヤ設備の重要性に比して製品価格が低い

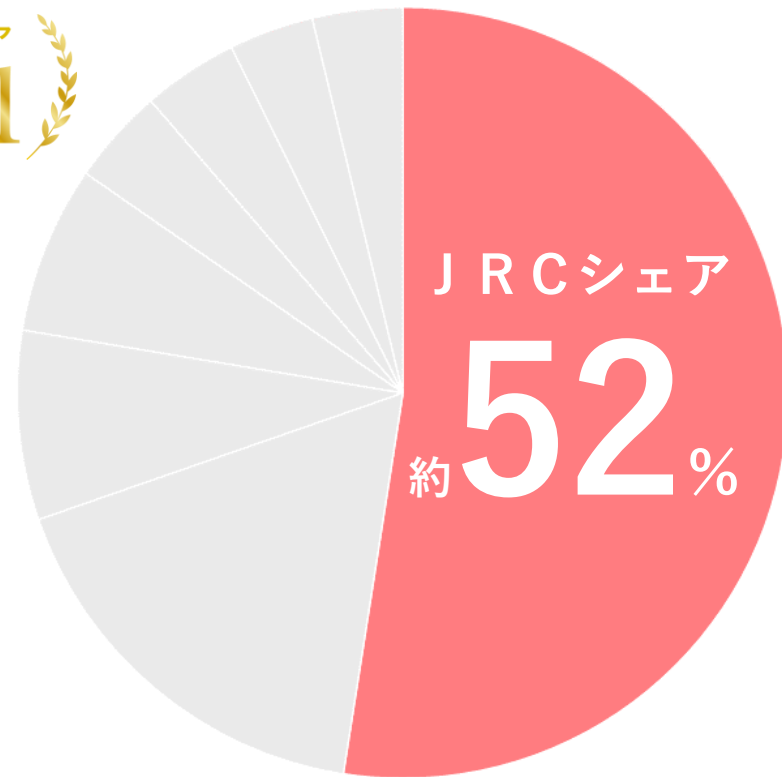
**着実な利益確保が可能**



# Ⅱ. 事業内容 安定感×リカーリング×ソリューション展開で「骨太の事業」を展開

## 国内トップシェア・盤石の事業基盤

プライスリーダーとしての **高い価格交渉力**

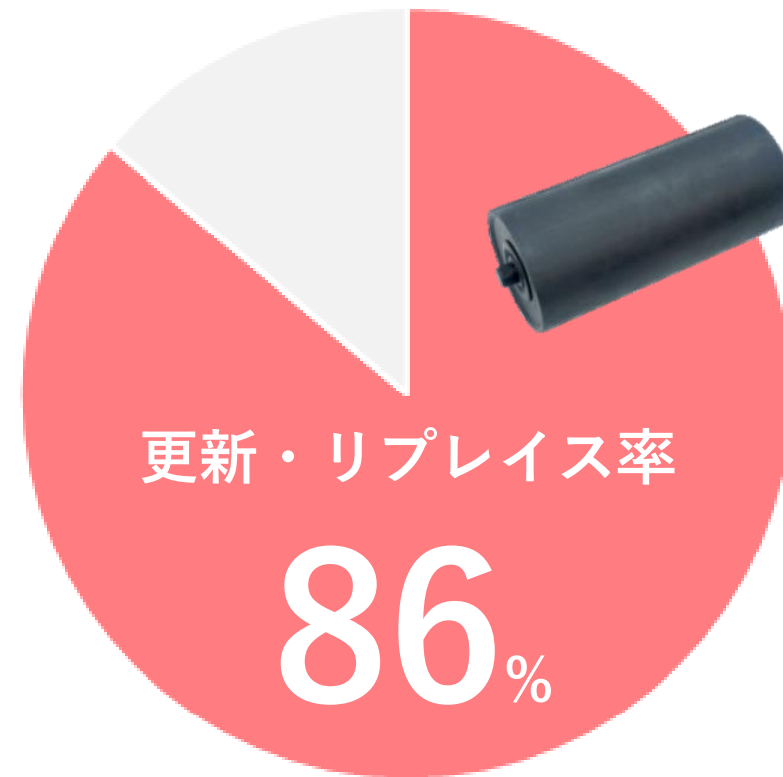


全国・他業種 **エンドユーザー1.3万社**



## 交換需要による高い更新・リプレイス率

JRCのコンベヤ部品事業における受注分類  
(2022年度)



安定稼働に必要不可欠 × 高い交換頻度 × 価格低下しにくい

**安定的なリカーリング  
収益を実現**

## ソリューションによる更なる成長・市場開拓

代理店同行でエンドユーザーの現場訪問  
(エンドユーザーへの直接アプローチ)



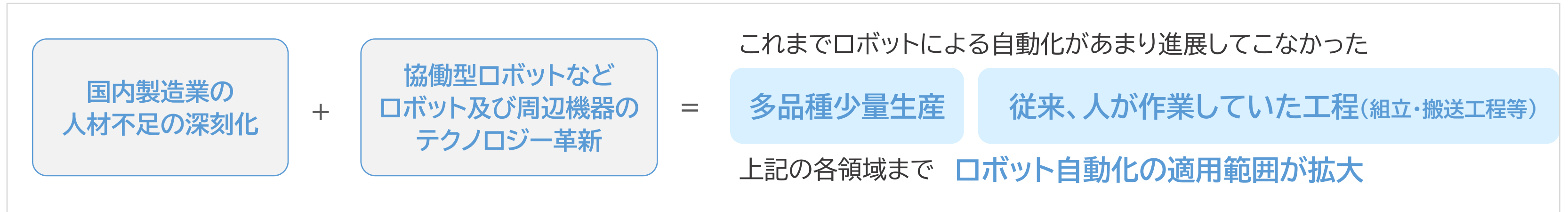
コンベヤの課題解決に向けた  
ソリューションを提案・実施

エンドユーザー

**「新規顧客獲得」** 及び  
**「顧客の囲い込み」**

## Ⅱ. 事業内容 「時代が直面する課題の解決」に向けた、JRCの新規事業

コンベヤ部品事業に次ぐ第2の事業として「ロボットSI事業」を展開しはじめた2018年当時の時代背景



ロボット化・自動化の新たな **急成長市場** として顕在化

下記の強みを背景に  **ALFIS** (アルフィス)のブランド名にて「**ロボットSIer(システムインテグレータ)**」として当該市場へ本格参入

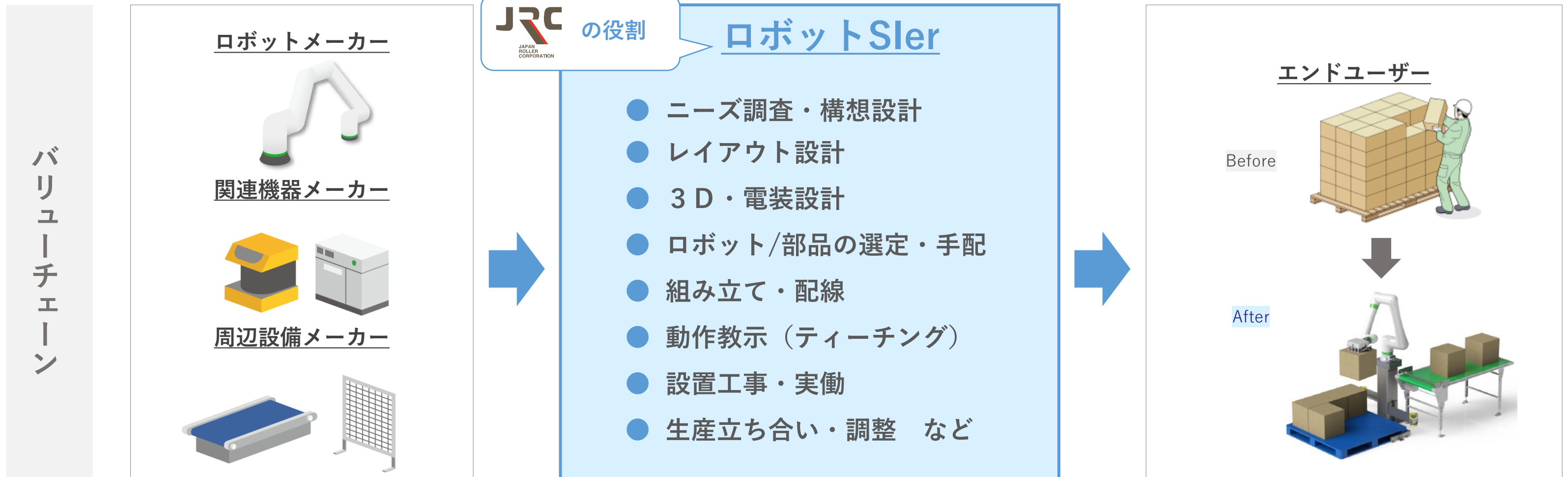
**バックボーン**

コンベヤ部品事業の強み **盤石の事業基盤・経営安定性・工場自動化のノウハウ**

## Ⅱ. 事業内容 **ロボットSierとして ～ロボットに命を吹き込む仕事～**

ロボット及び機器・設備メーカーとエンドユーザーとの間に立ち、ロボットを可動状態にする役割を担う  
「ALFIS(アルフィス)」ブランドで **ロボットSI (システム・インテグレーション)事業** を展開

### ロボットSier (ロボット・システムインテグレータ) の役割





# Ⅱ. 事業内容 コンベヤ部品事業を後ろ盾に市場内の独自ポジション確立へ

## 自社工場自動化の実績あり

自社も中小製造業だからこそ**顧客理解の深さ**



**ユーザー目線での商品提案・開発に強み**

ALFISロボットシステムの基本コンセプト

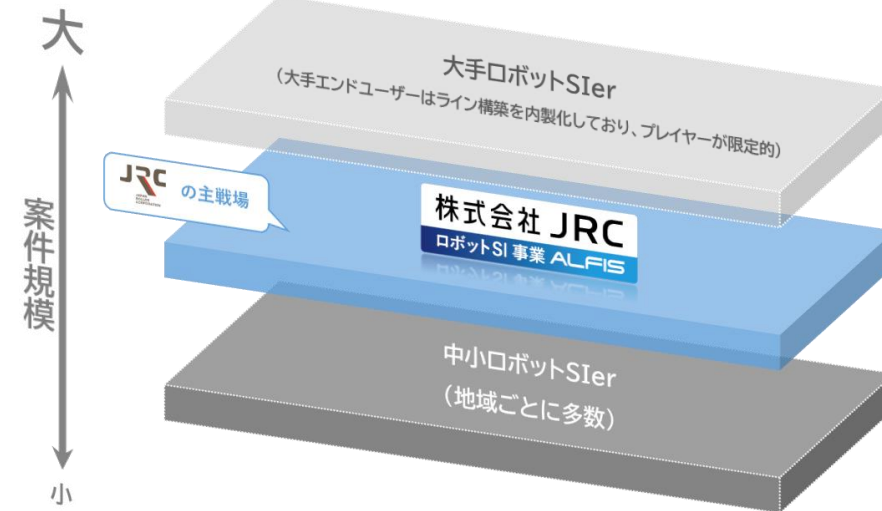
使いやすい

導入しやすい

高品質

現場で生きる、人に代わる  
ロボットシステムを提供

## 競合SIerの参入しづらい隙間市場



ALFISが主戦場とする「急成長市場」への参入障壁

大手

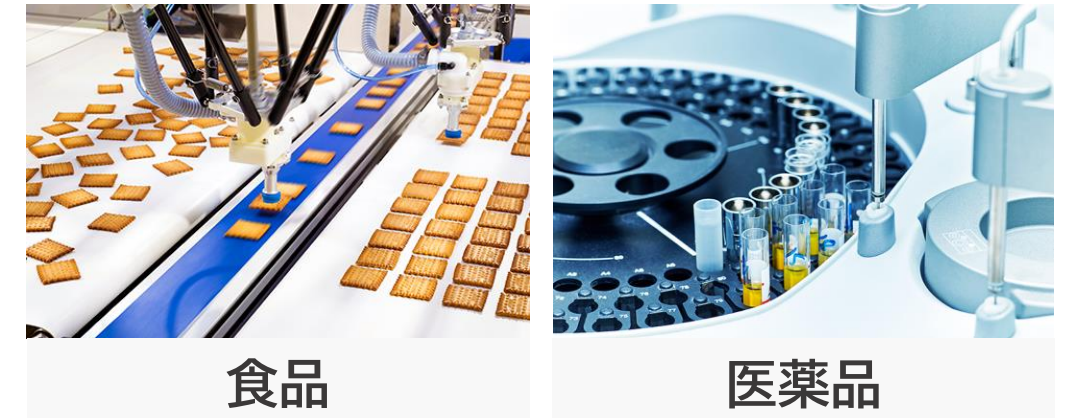
案件規模が小さく、強みが発揮できない

中小

- ・ 特定顧客へのカスタマイズ対応で繁忙
- ・ 標準化のリソース不足(一品一葉が多い)

急成長市場への  
参入ハードルは高く  
競争は限定的

## 急成長市場の主体「食品・医薬品」領域の知見



未だに人手作業に依存する現場が極めて多く、  
近年、特に労働人口減少の影響を受けている



ALFISはこれら「食品・医薬品」領域での  
ロボット化・自動化の知見を豊富に有する

今後、ロボット化・自動化が  
確実に進展する領域での  
アドバンテージをすでに保有



## 3Q実績

第3四半期は、売上高・各利益のすべてにおいて**過去最高**を記録  
各利益は**30%以上**の進捗率で推移

## コンベヤ 部品事業

ソリューションのさらなる**成長**  
更新案件が**堅調に推移**するとともに、新設案件が**復調**

## ロボット SI事業

第2四半期から移行した大口案件の検収が完了し、  
進捗率・達成率が**改善**

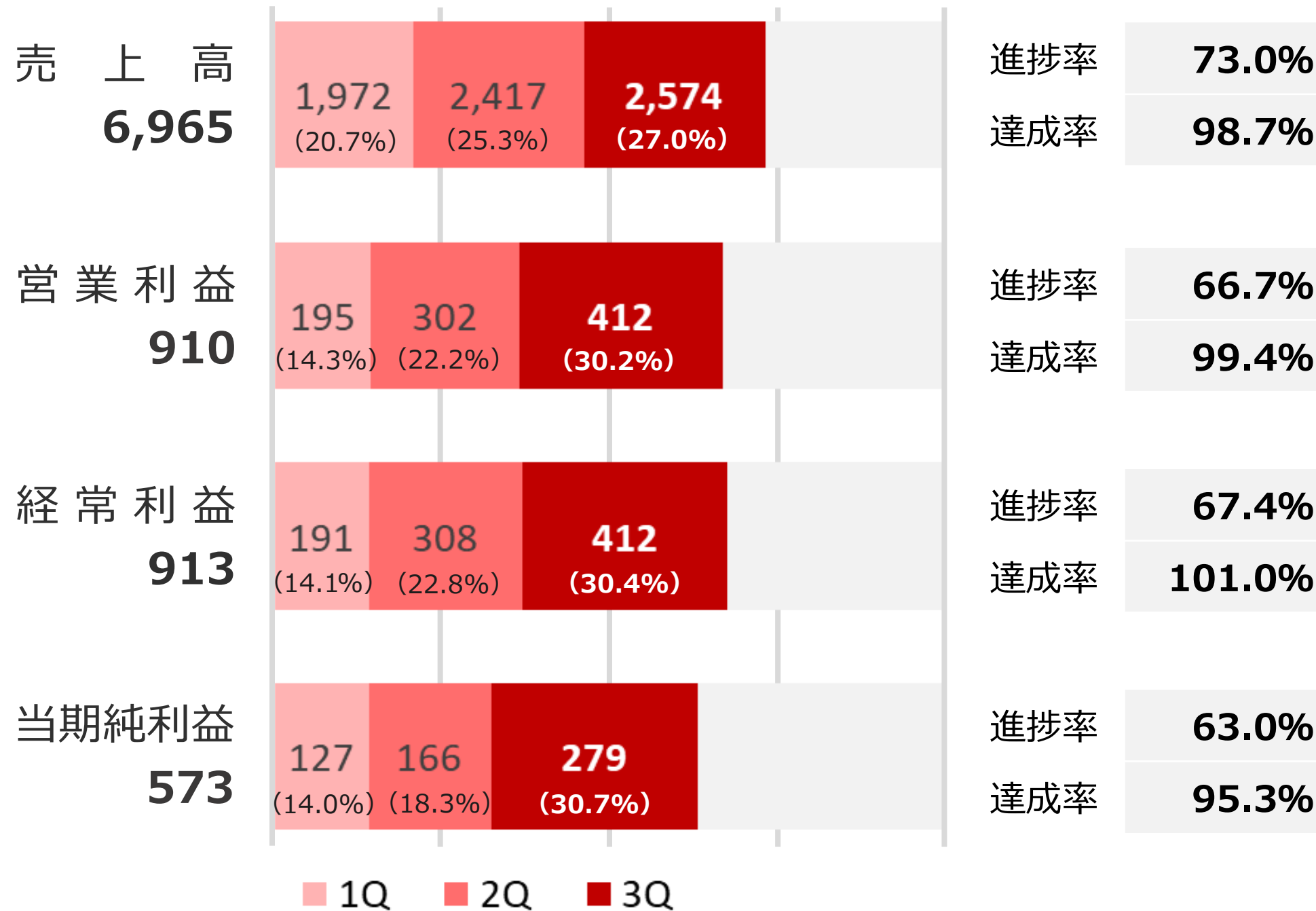
## 連結 業績予想

2023年8月9日公表の連結業績予想は、概ね**計画通り**進捗

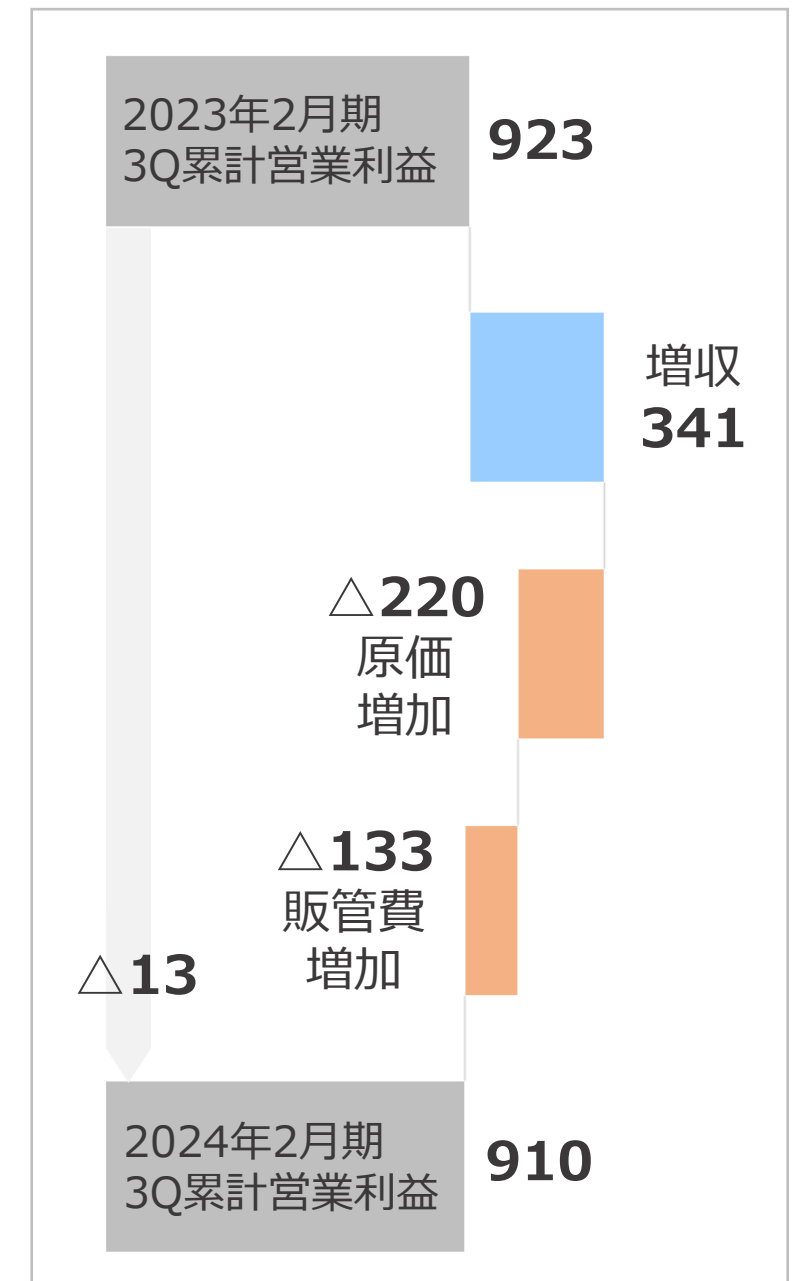
**第3四半期累計期間：** ソリューションのさらなる成長、機能製品を中心とした価格改定  
第3四半期は、売上高・各利益のすべてにおいて過去最高を記録

| (百万円)       | 2023年2月期 |       |       |       | 2024年2月期 |       |              |              | 事業<br>計画 | 達成率    | 前年<br>同期比 |
|-------------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|--------------|--------------|----------|--------|-----------|
|             | 1Q       | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q       | 2Q    | 3Q           | 3Q累計         |          |        |           |
| 売上高         | 2,180    | 2,121 | 2,320 | 2,337 | 1,972    | 2,417 | <b>2,574</b> | <b>6,965</b> | 7,057    | 98.7%  | +341      |
| 営業利益        | 305      | 266   | 351   | 328   | 195      | 302   | <b>412</b>   | <b>910</b>   | 915      | 99.4%  | △13       |
| 営業利益率       | 14.0%    | 12.5% | 15.1% | 14.1% | 9.9%     | 12.5% | <b>16.0%</b> | <b>13.1%</b> | 13.0%    | —      | △0.8pt    |
| 経常利益        | 309      | 275   | 356   | 328   | 191      | 308   | <b>412</b>   | <b>913</b>   | 904      | 101.0% | △28       |
| 当期純利益       | 211      | 189   | 248   | 181   | 127      | 166   | <b>279</b>   | <b>573</b>   | 601      | 95.3%  | △75       |
| 減価償却費       | 56       | 58    | 59    | 59    | 55       | 57    | <b>58</b>    | <b>171</b>   | 191      | 89.3%  | △2        |
| E B I T D A | 362      | 324   | 410   | 388   | 251      | 359   | <b>470</b>   | <b>1,081</b> | 1,107    | 97.7%  | △15       |

## 進捗率・達成率 (百万円)



## 営業利益の増減要因 (百万円)



**コンベヤ部品事業**：更新・リプレイス案件、コンベヤメンテナンスが堅調に推移するとともに、新設案件が復調

| (百万円) | 2023年2月期 |       |       |       | 2024年2月期 |       |              |              | 事業計画  | 達成率    | 前年同期比 |
|-------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|--------------|--------------|-------|--------|-------|
|       | 1Q       | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q       | 2Q    | 3Q           | 3Q累計         |       |        |       |
| 売上高   | 2,033    | 2,058 | 2,181 | 2,183 | 1,920    | 2,281 | <b>2,268</b> | <b>6,471</b> | 6,535 | 99.0%  | +197  |
| 営業利益  | 304      | 278   | 364   | 317   | 223      | 333   | <b>397</b>   | <b>953</b>   | 919   | 103.7% | +6    |

**ロボットSI事業**：第2四半期から移行した大口案件の検収が完了する一方、更新案件の納期が第4四半期に変更

| (百万円) | 2023年2月期 |     |     |     | 2024年2月期 |     |            |            | 事業計画 | 達成率   | 前年同期比 |
|-------|----------|-----|-----|-----|----------|-----|------------|------------|------|-------|-------|
|       | 1Q       | 2Q  | 3Q  | 4Q  | 1Q       | 2Q  | 3Q         | 3Q累計       |      |       |       |
| 売上高   | 147      | 63  | 139 | 153 | 52       | 144 | <b>308</b> | <b>505</b> | 582  | 86.7% | +155  |
| 営業利益  | 1        | △12 | △12 | 11  | △27      | △23 | <b>15</b>  | <b>△36</b> | △15  | -     | △12   |

## 連結貸借対照表

| 資 産     | (百万円)    |              |      | 負 債    | (百万円)    |              |        |
|---------|----------|--------------|------|--------|----------|--------------|--------|
|         | 2023年2月末 | 2023年11月末    | 前期末比 |        | 2023年2月末 | 2023年11月末    | 前期末比   |
| 流動資産    | 5,939    | <b>6,253</b> | +313 | 流動負債   | 2,967    | <b>2,599</b> | △368   |
| 固定資産    | 4,022    | <b>3,667</b> | △354 | 固定負債   | 3,544    | <b>3,335</b> | △209   |
| 有形固定資産  | 3,069    | <b>2,980</b> | △89  | 負債合計   | 6,512    | <b>5,934</b> | △577   |
| 無形固定資産  | 49       | <b>94</b>    | +44  | 純資産    |          |              |        |
| 投資その他資産 | 902      | <b>593</b>   | △309 | 純資産合計  | 3,450    | <b>3,987</b> | +537   |
| 資産合計    | 9,962    | <b>9,921</b> | △40  | 自己資本比率 | 34.6%    | <b>40.2%</b> | +5.6pt |

### <主な増減項目>

#### 資 産

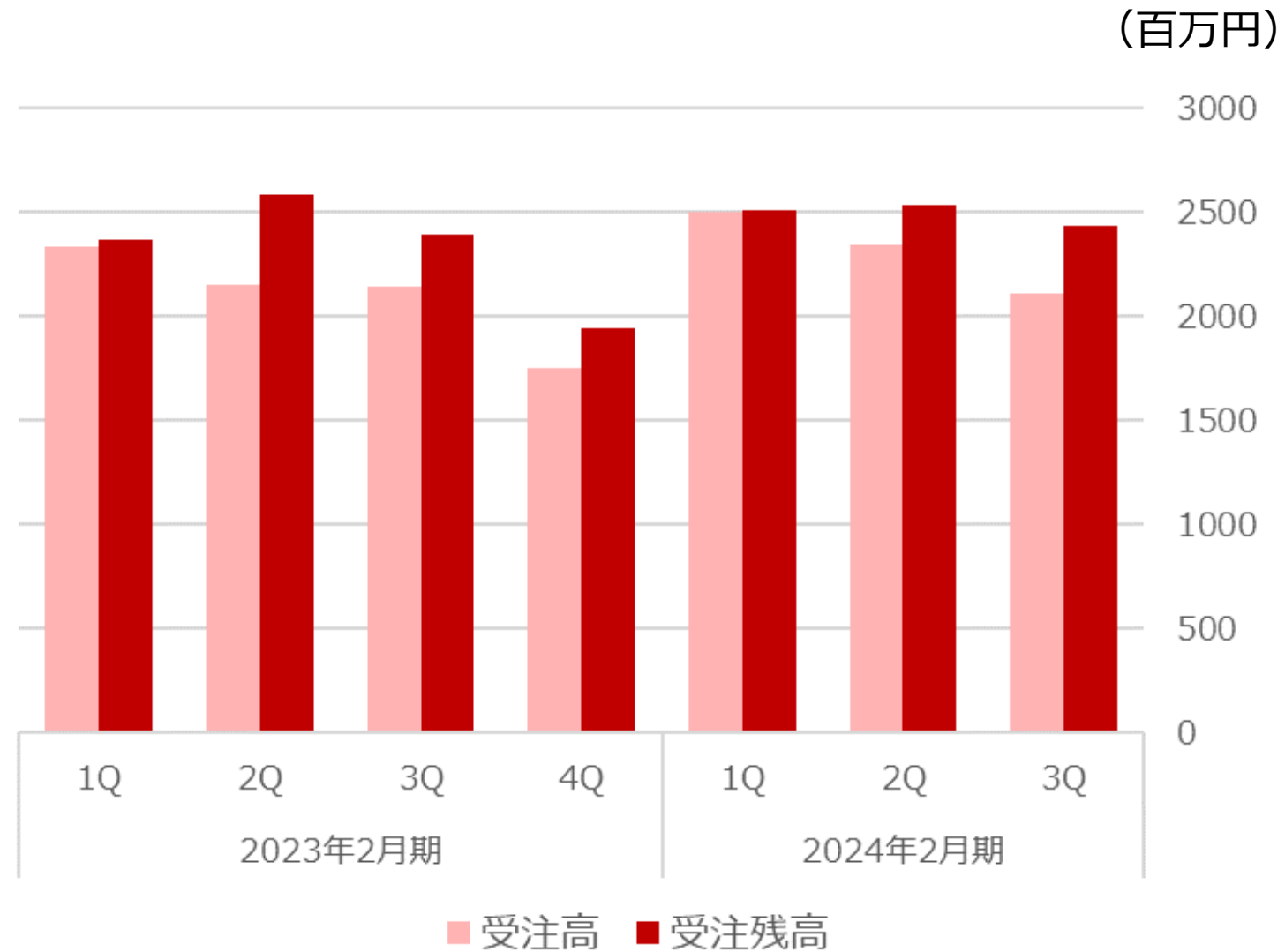
|         |      |
|---------|------|
| ・現金及び預金 | △206 |
| ・売掛金    | +118 |
| ・繰延税金資産 | △249 |

#### 負債・純資産

|         |      |
|---------|------|
| ・未払法人税等 | △382 |
| ・長期借入金  | △213 |
| ・利益剰余金  | +473 |

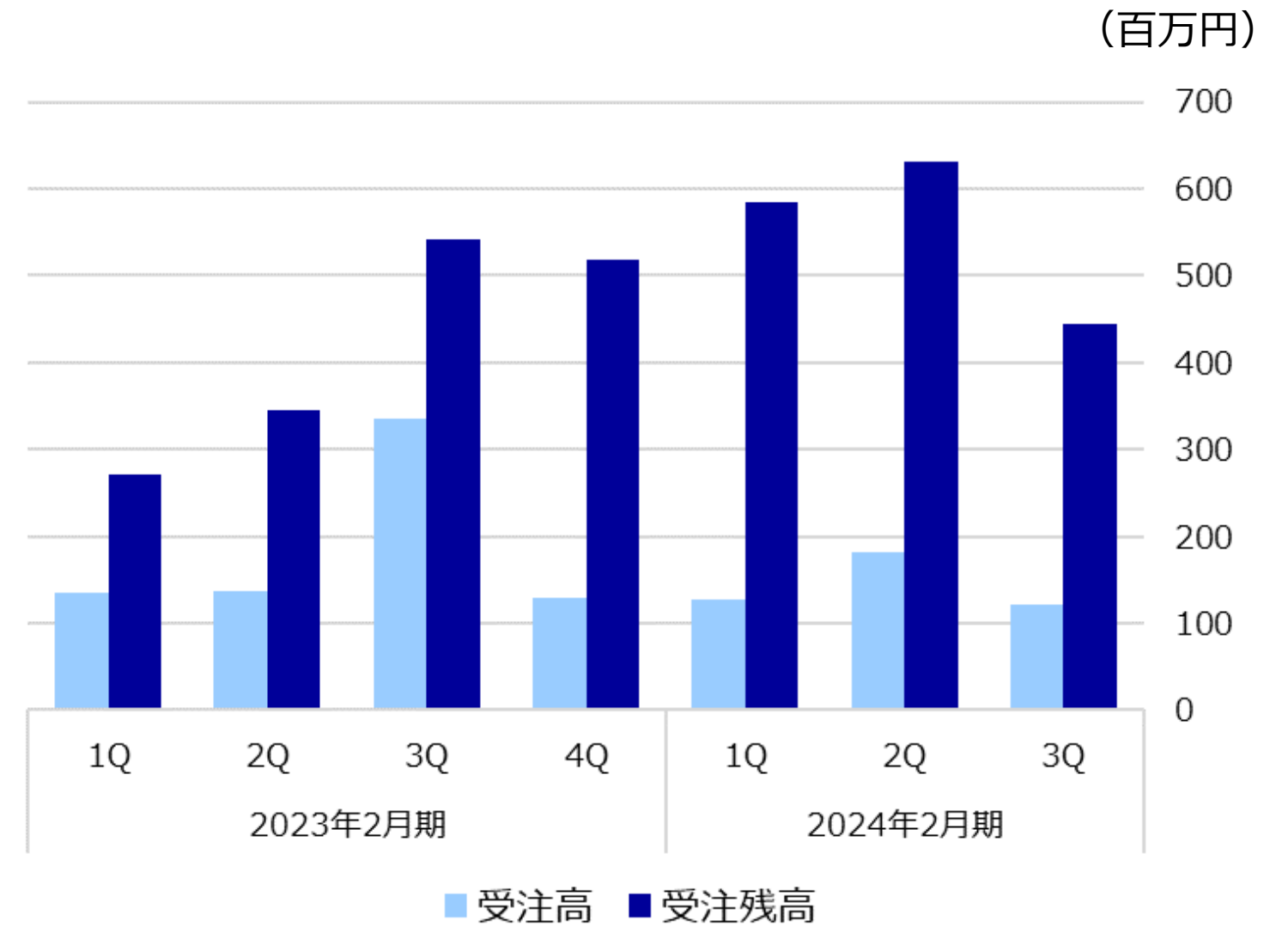


## コンベヤ部品事業



前期4Qの受注減少の反動により、旺盛であった受注が一服するものの、依然として高水準で推移

## ロボットSI事業



積みあがった受注残高を確実に売上計上しつつ、旺盛な需要を背景に、安定的に受注を獲得

2024年2月期連結業績は前回予想（2023年8月9日公表）通りの着地を見込む

| (百万円)        | 2023年2月期<br>通期実績 | 2024年2月期<br>前回予想<br>(2023年8月9日公表) | 2024年2月期<br>今回予想<br>〈変更なし〉 | 前年同期比  |        |
|--------------|------------------|-----------------------------------|----------------------------|--------|--------|
|              |                  |                                   |                            | 増減額    | 増減率    |
| <b>売上高</b>   | 8,961            | 9,541                             | <b>9,541</b>               | +580   | +6.5%  |
| コンベヤ部品事業     | 8,457            | 8,801                             | <b>8,801</b>               | +344   | +4.1%  |
| ロボットSI事業     | 503              | 739                               | <b>739</b>                 | +236   | +46.9% |
| <b>営業利益</b>  | 1,252            | 1,364                             | <b>1,364</b>               | +112   | +9.0%  |
| コンベヤ部品事業     | 1,264            | 1,354                             | <b>1,354</b>               | +89    | +7.1%  |
| ロボットSI事業     | △12              | 10                                | <b>10</b>                  | +22    | —      |
| 営業利益率        | 14.0%            | 14.3%                             | <b>14.3%</b>               | +0.3pt | —      |
| <b>経常利益</b>  | 1,270            | 1,354                             | <b>1,354</b>               | +84    | +6.6%  |
| <b>当期純利益</b> | 830              | 910                               | <b>910</b>                 | +79    | +9.6%  |

## 基本方針・配当予想

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定した配当を行うことを基本方針とし、連結配当性向30%程度を目安に配当の実施を目指してまいります。

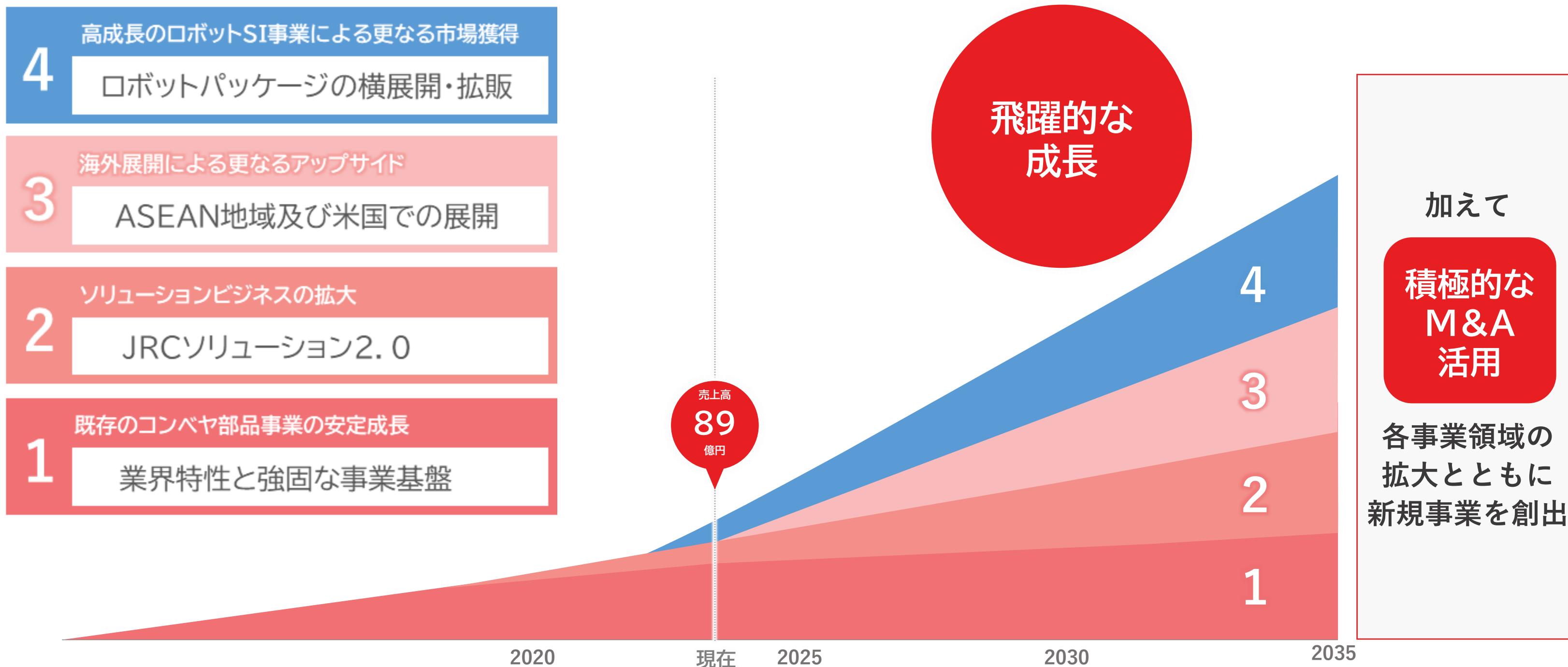
2024年2月期の配当につきましては、期末配当として1株当たり21円を予定しております。

|          | 2023年2月期実績      | 2024年2月期予想 |
|----------|-----------------|------------|
| 1株当たり配当金 | 158円48銭（※7円92銭） | 21円00銭     |
| 配当性向     | 12.0%           | 29.2%      |

※当社は、2023年6月16日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っていることから、2023年2月期実績の1株当たり配当金については、参考として（）内に当該株式分割を考慮した数値を記載しております。

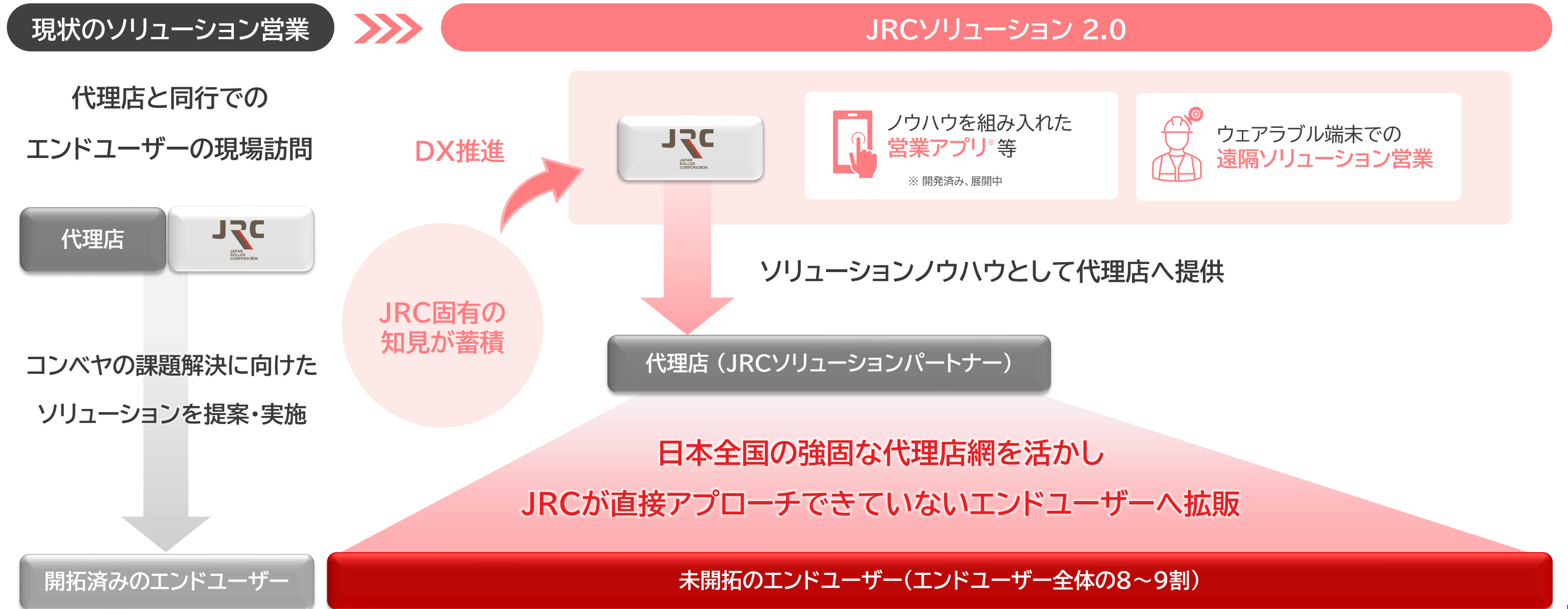
# V. 成長戦略 今後の事業展開の全体像

JRCグループ 売上成長曲線イメージ



# V. 成長戦略 ソリューションビジネスの拡大

JRC固有の知見を、デジタルを活用し代理店に展開  
現状は直接アプローチできていないエンドユーザーへ拡販





# V. 成長戦略 海外展開（ASEAN地域/米国）による更なるアップサイド

JRCの日本での実績が注目され、近年、海外への輸出機会が増加

ASEAN地域及び米国での事業展開によるコンベヤ部品事業の更なる成長を計画

## ① ASEAN地域への展開

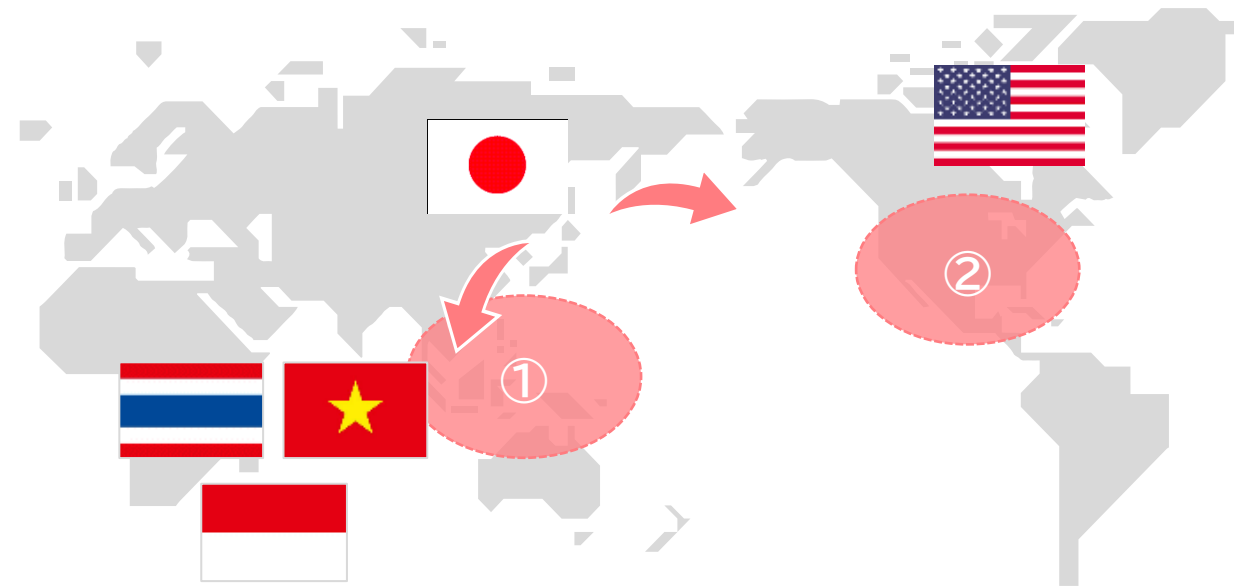
インドネシアでの現地生産化から  
周辺国への輸出によるシェア獲得へ

### マイルストーン

- STEP1   
インドネシア現地生産化
- STEP2 →   
インドネシアから  
輸出開始でシェア拡大へ
- 長期   
シェア5%獲得を目指す



ローラ生産自動化ノウハウを武器に  
海外でのシェア獲得・拡大へ



現地でローラ自動生産ラインを構築  
競争と差別化・競争力の源泉に

品質

コスト

デリバリー



## ② 米国への展開

パートナーASGCO(アスゴ)社の  
販路を活用し現地組立化による  
コスト低減～米国シェア獲得へ

### マイルストーン

- STEP1 全米展開
- STEP2 米国での現地組立化
- 長期 全米シェア10%  
獲得を目指す

# V. 成長戦略 **ロボットパッケージの横展開・拡販で更なる市場獲得へ**

設計段階からの標準化により**カスタマイズ要素を最小化**し、技能を蓄積  
**標準化されたロボットパッケージ**を横展開・拡販していくことで、**コストと品質を両立**

## 標準パッケージ例

使いやすく、導入しやすい、高品質なロボットシステムを標準パッケージ化



ロボットパレタイズシステム  
(パレット積み付け自動化)



パラレルリンクロボット搭載  
高速ピッキングシステム



ロボットデパレタイズシステム  
(パレット荷下ろし自動化)



メディカル領域  
ロボット自動化システム

**今後もさまざまな標準パッケージを追加開発・横展開し、急成長市場の更なる獲得へ**

# 既存事業の周辺領域への展開、製販体制の強化

コンベヤ部品事業、ロボットSI事業、それぞれの領域拡大とともに  
 社会に対してより貢献できる新規事業を創出し、中長期的な企業価値向上へ

## <コンベヤ部品事業>

- ・コンベヤ周辺領域の拡大  
 (メンテナンス・ソリューション活動の強化)
- ・コンベヤ部品製造業の買収によるシェアの拡大

## <新成長分野>

- ・AI/DX領域の取り組みの強化
- ・新領域への進出

## 【M&A方針】

- 周辺領域の取り込みによるシナジー拡大
- 新技術・領域の取り込みや専門人材獲得による成長加速
- 新たな事業による価値創出
- M&Aを通じた事業承継問題の解決

## <ロボットSI事業>

- ・中小SIerとの資本提携による販売・製造体制の強化
- ・尖った新技術の獲得による  
 ロボットパッケージの拡販・高付加価値化

## VI. 子会社によるM&Aの実施について

2023年12月28日開催の取締役会決議により、当社の連結子会社であるJRC C&M株式会社が、東陽工業株式会社の全株式を取得いたしました。

### 1. 株式取得の概要

- 1) 株式譲渡実行日 : 2023年12月28日
- 2) 株式取得価格 : 65,950千円 (概算)
- 3) 株式取得の相手先 : 齋藤久男、佐藤広明、岩井泉

### 2. 対象会社の概要 (株式取得前)

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| 名 称       | 東陽工業株式会社                              |
| 所 在 地     | 福島県本宮市和田字諏訪10番地                       |
| 代 表 者     | 代表取締役社長 齋藤久男                          |
| 事 業 内 容   | 都市ごみ焼却設備関連品の製造販売及びバイオマス発電設備関連品の製造販売   |
| 資 本 金     | 40百万円                                 |
| 設 立 年 月 日 | 1945年10月10日                           |
| 大株主及び持株比率 | 齋藤久男 : 45.0% 佐藤広明 : 32.5% 岩井泉 : 22.5% |

## VI. 子会社によるM&Aの実施について

### 3. 株式取得の目的

#### JRC C&M株式会社

事業内容： ごみ焼却施設、リサイクル施設などの環境プラント向けコンベヤの設計・製造・据付・メンテナンス  
近年では、バイオマス発電所向けの搬送設備にも注力し、事業の多角化を推進

#### 東陽工業株式会社

事業内容： 火力発電プラントやごみ焼却施設内のボイラー関連の煙道ダクトやケーシング等の製造

連携

- ・コンベヤ搬送設備以外のボイラー関連製品、灰ホッパー、架台・貯留槽などの付帯設備まで**製造領域が拡大・補完**
- ・両社の経験・技術・ノウハウが融合され、双方の顧客基盤を活用したクロスセルを行うことで、シナジー創出による両社事業の**成長加速を実現**

従来のコンベヤ搬送領域に留まらない、より広範な製品とサービスをワンストップで提供し、市場シェアを拡大するとともに、グループのシナジーを活かして、**より一層の付加価値の提供、業界・社会の課題解決に貢献**

※本株式取得が、当社グループの 2024年2月期連結業績に与える影響は軽微であります。